プログラム

Day 1 9月6日(木)

9:30▶9:35 開会のご挨拶　一般社団法人　日本情報システム・ユーザー協会

9:35▶10:35 基調講演 K1

株式会社リコー
執行役員　デジタル推進本部長
石野 普之 氏

IT部門がDigital transformationをドライブする ～ITを経営の戦略的な武器とするために

デジタル革命、働き方変革、AI、クラウドなどの新しい技術、セキュリティの脅威等々、IT部門を取り巻く環境は急激に変化し、また経営の期待も高まっています。
このような時代に我々IT部門はどう立ち向かっていけばよいのでしょうか。
リコーのチャレンジと悩みを皆様と共有したいと思います。

10:45▶11:45 特別講演 K2

デロイト トーマツ グループ
Chief Information Officer
安井 望 氏

Digital時代におけるグローバルと日本の立ち位置の違い

多くの日本企業がAI/IoT等、Digital時代への対応を求められ様々な取り組みを行っています。一方、グローバルに目を向けると同様の取り組みが欧米企業を中心に行われ、新たな局面に入っています。
グローバル先進企業の事例から何を学ぶべきか、日本企業ではどういった部分の環境が異なるため困難が待ち受けているのか、様々な角度から考えてみたいと思います。

12:00▶12:45 ランチョンセッション

松花堂弁当つき

戦略的なIT投資でイノベーションを実現する ～デジタルイノベーションへの最適な選択をするために～ L1

デジタルトランスフォーメーションは、ソフトウェアを導入したからといって、生まれるものではありません。各社各様には、それぞれの事業戦略があり、選択できるソフトウェアは多くあります。そして、今、新しいイノベーションを実現するためのテクノロジーが雨後の竹の子のように育ち始めています。エンタープライズアプリケーションの領域に関しましては、ソフトウェアベンダーに都合のよい情報だけが翻訳されているのも事実です。しかしながら、現在のエンタープライズシステムの保守リソースでは、新しいイノベーションへの投資を推進できないとお考えの企業様も多いかと思います。本セッションでは、イノベーションへの再投資の秘訣をお伝えいたします。

日本リミニストリート株式会社
日本支社長
脇阪 順雄 氏

100人の部長職の方に聞きました「RPAで何？」 L2

RPA活用が本格化されるいま。ロボット化は必要ですが、そのぶん投資も必要になります。また「RPAで何をどうしたら最善なの？」と悩んでしまう企業も多く見受けられます。
弊社が自らインタビューした金融・製造・物流・サービス・ゲームなど幅広い業種から集めた生の声を基に、既に導入済みの東京ガスの沢田部長とディスカッションいたします。

東京ガス株式会社
デジタルイノベーション本部　IT統括部　部長
沢田 和昌 氏

IIMヒューマン・ソリューション株式会社
代表取締役
関 マサエ 氏

狙われる日本企業　～ビジネスメール詐欺の実態と防御技術～ L3

国内で被害が広がるビジネスメール詐欺(BEC)。BECはその攻撃手法の特性から従来のセキュリティソリューションでは防ぎきることが難しい脅威です。
本セッションでは、BEC被害の実態やその手口、対策の要所、およびトレンドマイクロが持つBECに有効な最新技術について解説いたします。

トレンドマイクロ株式会社
セキュリティエキスパート本部　プリセールスSE部　部長
新井 源杓 氏

DevOpsを支援する開発環境の動向と導入時の課題 ～DevOpsをSoRの現場に推進するとどうなるか？～ L4

クラウド、IoT、AIに代表されるICTの進化により、従来型システムであるSoRに加え、SoEという新しいICTモデルが登場してきました。SoEは俊敏性や変化対応力が求められるため、仮説検証プロセスを高速に回すDevOpsへの取り組みが必要です。本講演では、DevOps推進の立場から、DevOps実現の鍵となるアジャイル、マイクロサービス、継続的デリバリーなどの概念をSoRの開発現場に推進した際に遭遇した課題と、NEC自身の取り組み状況や開発支援ツールについてご紹介します。

日本電気株式会社
ソフトウェアエンジニアリング本部
エキスパート
三津橋 晃丈 氏

13:00▶13:50 事例セッション

新たな保守形態で未来を創る ～日本郵便におけるコスト削減のチャレンジとその成果 A1

IT技術の激変が叫ばれる中、静寂を保っている分野があります。それはハードウェアの保守です。ハードウェア自体の技術向上は目覚ましく、処理性能対費用の比は現在でも指数関数的に向上し続けています。しかし、ハードウェアの年間保守料金(24時間365日のケース)は、ハードウェア購入価格の20%弱で近年推移しているように見えます。日本郵便では、システムの構成や運用形態ごとにハードウェア保守形態を選択し、主たる保守形態は週に一回集中保守としました。その結果、従来の半分以下にまで削減できる見通しもケースによっては出てきています。本講演では、その取り組みと、その背景にある想いをお話します。

日本郵便株式会社
専務執行役員　CIO
鈴木 義伯 氏

ITで事業/経営にデライトをもたらす ～ DeNA IT戦略部の取り組み ～ B1

約1年前、DeNAのIT戦略部では「ITで事業/経営にデライトをもたらす」ことを新たなミッションに掲げました。
DeNA全社を支えるIT部門の組織体制、各種クラウドツールやRPAなどの導入推進、組織全体の生産性と創造性の向上を目指したデジタルプラットフォームの構築など、DeNAが進める具体的な取り組みをご紹介します。

株式会社ディー・エヌ・エー
IT戦略部　部長
成田 敏博 氏

AIを用いた臨床試験効率化の取組み D1

ひとつの医薬品を創製するには数百億～1千億円規模の開発投資と十年前後の長い時間を要しますが、その中でもっともコストがかかる臨床試験の効率化に、当社と日立製作所の協創によって取り組んだ事例をご紹介します。
「どこから手をつけるか」の議論を経て、当社の医薬品開発のノウハウと自然言語処理をはじめとする日立のAI技術を掛け合わせた事例を、異業種の方々にもご参考になるようにお話しいたします。

田辺三菱製薬株式会社
執行役員　フューチャーデザイン部長
清水 良 氏

JUASクローズアップセッション

ダイバーシティ＆インクルージョンは武器になる！ ～価値を生み出すワークライフ～ C1

ITに関わる人材には、今までとは異なる発想や役割が求められています。これに対応するひとつのキーワードがダイバーシティ＆インクルージョン(D&I)です。多様な人材が認められて新たな価値を生み出すために不可欠な「インクルージョン」。そんな想いから立ち上げた研究会も2年目に入りました。活動の中で上がった声を共有しながら、D&Iから生まれる価値について皆さんと一緒に考えます。

議長
AJS株式会社
インダストリー事業本部　第1事業部
担当課長
高田 祐子 氏

副議長
アサヒビジネスソリューションズ株式会社
管理統括部
人事総務グループ
グループ長
栗原 美紀 氏

株式会社エクサ
エンタープライズ営業本部
Smartファクトリー営業部　部長
渡辺 佳枝 氏

デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社
執行役員　EMカンパニー社長
本間 市子 氏

14:05▶15:15 ディスカッションテーブル

デジタル時代に脚光を浴びる情報子会社の「光」と「影」 ～追い風に乗るか、失速するか、ほな行きまひょか～ A2

議長
住友電工情報システム株式会社
取締役
ビジネスソリューション事業本部長
谷本 收 氏

昨年に引き続き「光」と「影」シリーズ第二弾でっせ。AI、IoT、RPAなど新しいITを駆使して事業を革新せよ、外販を推進せよと、親会社からの期待が高まるのはええけど、人材も不足しとるし、まだ残っとるレガシーシステムもなんとかせなあかん。ほんまみなさんどうやってんやろ。1社で悩んでてもしゃあないので、関西のIT子会社の知恵と工夫を集めましたで。
みなさんと一緒に考えまひょ。ご来場、お待ちしてまっせ！

副議長
株式会社JR西日本ITソリューションズ
常務取締役
鉄道ソリューション本部長
脇谷 精二 氏

日本ハムシステムソリューションズ株式会社
取締役　管理統括部長
木下 秀規 氏

これからのIT技術者はどこに向かうのか ～デジタル化、MODE 2人材、働き方改革、雇用延長、スキル継承　さあどうする？～ B2

前回のJUASスクエアでは、「働き方改革」をテーマに、その取り組みをスタートしようとする事例や議論が多く聞かれました。1年たった今、各社の実践状況はどうなったでしょうか？デジタル技術の活用、働き方・人材のバリエーション、労働時間の短縮、生産性向上といろいろな取り組みがなされ、新たな課題が生まれているのではないでしょうか。各社のコアとなる価値とそれを創造するための人材ポートフォリオをいかに設計するのか、またその土壌となる組織風土をどう醸成するのか、様々な業種、世代、立場の方々と一緒に議論したいと思います。

議長
T&D情報システム株式会社
常務取締役
佐伯 健二 氏

副議長
インフォコム株式会社
エンタープライズ事業本部　本部長
金子 高志 氏

コベルコシステム株式会社
専務取締役　システム事業部
事業部長
瀬川 文宏 氏

千代田システムテクノロジーズ株式会社
IT事業本部　本部長代行
保坂 成利 氏

「デジタル×ビジネス」の成功の秘訣語ります C2

議長
株式会社IHI
高度情報マネジメント統括本部
企画管理部長
加藤 格 氏

最新技術を使って、新規ビジネスや既存のビジネスプロセスの改善など様々なデジタルトランスフォーメーションに挑戦する時代になりました。しかし、デジタルによる価値創造はもちろんのこと、既存のビジネスモデルからの脱却・意思決定・組織の壁・人材育成・スピードなど、多くの課題も存在するのも事実で、それらに対応する必要があります。デジタルトランスフォーメーションを成功に導く原動力となるものは果たして何なのか、失敗の教訓なども含め、フォーラムメンバーの事例から、会場の皆様と議論してまいりたいと思います。

副議長
サッポログループマネジメント株式会社
取締役
グループIT統括部長
石原 睦 氏

JFE商事株式会社
システム主監
荒木 達人 氏

東日本旅客鉄道株式会社
技術イノベーション推進本部
システムマネジメント部門
部長
中村 和訓 氏

JUASクローズアップセッション

サービスマネジメントにおける多様なアプローチとデザイン思考 D2

議長
株式会社ローソンデジタルイノベーション
サービスマネジメント本部
マネジャー
田邉 正則 氏

ITサービスに求められるものは安定稼働、効率化は大前提として、新たな価値を提供する役割が期待されるようになりました。
一方で、運用保守の現場からは新たなサービスを活用しようとしても、複雑化するシステムの中で「実際どうすりゃいいの？」と言う声もよく聞きます。
これからのサービスマネジメントについて、デザイン思考なども活用しながら、新しいアプローチを一緒に考えてみませんか？

副議長
インフォテック・サービス株式会社
テクニカルサポート部長
齊藤 直樹 氏

株式会社NTTデータ
製造ITイノベーション事業本部
コンサルティング＆マーケティング事業部
マネージングコンサルタント
三好 寛 氏

15:30▶16:40 ディスカッションテーブル

あなたは孫悟空になれますか？～クラウドの使い手として考える～ A3

議長
新日鐵住金株式会社
業務プロセス改革推進部　部長
中川 義明 氏

世の中ではクラウドは、完全に市民権を得ています。しかし、企業ユースではどうでしょう。すべての企業がクラウドの恩恵にあずかれるわけではなく、企業内でコントロールできないことや、情報漏えいの不安、費用面でのメリットなどから、部分的な導入にならざるを得ない、というのが実態ではないでしょうか。本ディスカッションテーブルでは、各企業の事例を参考に、クラウド導入の進め方について皆様と議論し、雲(クラウド)から落ちない孫悟空像を考えていきましょう。

副議長
凸版印刷株式会社
ICT統括本部
業務システムセンター長
岩村 和也 氏

日清食品ホールディングス株式会社
情報企画部　次長
中野 啓太 氏

株式会社
日本アクセス
情報システム部長
平戸 裕志 氏

デジタル時代、今こそ情報子会社の役割変革のとき！ B3

今や、ビジネスにデジタル化は不可欠。アプローチ、スピード、必要とする技術・人財、変革には非連続な取り組みが求められています。ビジネス部門の要請に、これまで通り社内の専門家や異なる分野の人を集め、仮説検証を繰り返せば、新しいビジネスが成立するのでしょうか。どのような人を集めればいい？社外との連携はどうする？既存の資産はどう活かす？今こそ情報子会社ならではの貢献ができるときです。好事例・失敗事例などのディスカッションを通じ、デジタル時代における情報子会社の期待役割に迫ります！

議長
東京海上日動システムズ株式会社
エグゼクティブオフィサー　生保本部長
青木 眞由美 氏

副議長
アサヒビジネスソリューションズ株式会社
執行役員　ソリューション本部長代行
小熊 利章 氏

株式会社テプコシステムズ
取締役　常務執行役員
システム企画室長
川名 康雄 氏

ニッセイ情報テクノロジー株式会社
執行役員　ヒューマンリソース部長
徳永 正志 氏

貴社にとってのデジタル化って？ ～この変革のチャンスをどう生かしますか？ C3

今やデジタルトランスフォーメーションは、企業にとって「不可避」となりました。
何のために何を変えたいのか、あるいはどんな姿を描いているのか、それは各社各様です。IoT、AI、RPAなど進化するITの可能性をどのように生かし、それぞれがどのような価値の提供を目指すのか。本セッションでは、我々が考える「デジタル化の意義」と「近未来の姿」、そのための「新たな枠組み」について、経営、IT部門、ユーザーなど、様々な視点の事例を交えながら、ディスカッションしたいと思います。

議長
東京ガス株式会社
デジタルイノベーション本部　IT統括部　部長
沢田 和昌 氏

副議長
株式会社オカムラ
企画本部
情報システム部
部長
橋川 史朗 氏

JXTGエネルギー株式会社
情報システム部
担当部長
丸山 亨 氏

TDK株式会社
SCM＆経営システム本部
ビジネスシステムグループ
業務ソリューション部長
横山 裕司 氏

JUAS FUTURE PRESENTATION 2018

2030年、未来に何をつないでいきますか？ あなたのつなげたい想い＝「未来に実現したいこと」 「未来に向けて挑戦していること」を形にして、 JUASスクエア2018の会場で、皆様に届けてください！ あなたの創りたい未来のために、今から何を始めますか？ D3

※公募によるスピーカーが未来への「想い」と自身の経験を6分間で語るライトニングトークです。

JUAS FUTURE PRESENTATION2018
未来想創 ～つながる想い いざ実践～

応募はこちらから　http://www.juas.or.jp/seminar_event/event/

16:55▶17:45 コンサルティングセッション

データ活用成功の鍵を教えます ～ 企業データ基盤「データパイプライン」の構築と実例 ～ A4

ビッグデータを起点とする機械学習やAIへの関心が高まりを見せるなか、企業におけるデータ利活用への取組みが積極的に進められています。企業のデータ利活用において重要なポイントは、可視化・分析ツールの導入だけでなく、その前の「データ」自身の整備にあります。本セッションでは企業のデータ活用基盤である「データパイプライン」の構築や事例についてご紹介すると共に、データ利活用で大きな効果を上げている日立グループ内の取組みについてご紹介します。

株式会社 日立製作所
サービス営業推進本部
Pentahoプロジェクト室　室長
酒井 宏昌 氏

株式会社 日立製作所
サービス営業推進本部
Pentahoプロジェクト室　技師
滝沢 英一郎 氏

株式会社 日立マネジメントパートナー
Lumada推進部
部長
大塩 喜美子 氏

DXにおいてIT部門の果たすべき役割 ～IT部門リーダーがいま経営と対話すべきこと B4

デジタルトランスフォーメーションの推進において、IT部門が先導役を求められ、新たな役割の確立に苦悩するケースが増えています。IT組織の再編、スピーディなPoC、デジタル化対応システム基盤の整備、開発しない問題解決手法、レガシーの克服、人材育成、投資評価の在り方など、課題は多岐にわたります。JUASビジネスプロセス研究会での議論を踏まえ、いまIT部門が経営と対話すべきテーマについて問題提起します。

サイボウズ株式会社
ビジネスマーケティング本部　シニアコンサルタント
広井 邦彦 氏

ユニチカが語る！ 基幹システム刷新後の柔軟性を実現する、システムリフォームの全容 C4

ユニチカでは、基幹システムの再構築にあたり「先進性」「保守性」「開発生産性」の実現というコンセプトを打ち立て、今後の主流開発モデルとされる「システムリフォーム」をベースに「ユニチカモデル」を策定し、当モデルでの再構築を無事に完了しました。実践で築き上げたノウハウと勘所を詳しく説明します。

ユニチカ株式会社
情報システム部
部長
近藤 寿和 氏

ユニチカ株式会社
情報システム部
ICT基盤統括
チーム長
中谷 格 氏

株式会社
ソフトロード
代表取締役社長
劉 忱 氏

AGCグループにおけるデータ利活用の推進 ～情報システム部主導 データ共有/分析基盤の提供と活用促進～ D4

情報システム部は働き方改革のためにデジタル技術のビジネス活用をグループ内で推進しています。「データから気付きを得て意思決定に役立てる働き方」を支援することを目的にデータ共有/分析基盤の提供と活用を促進するためのコンサルティング活動を2014年より実施しています。スモールスタートで始めた活動は現在国内の関係会社にまでその対象範囲を広げ、今後は海外の関係会社にも活動領域を広げていく予定です。本セッションでは情報システム部の立場としてどのように進めてきたかをご紹介いたします。(活動の経緯、案件の発掘/業務部門との協業方法の模索、部門横断でのベストプラクティス共有方法、など)

AGC株式会社
情報システム部　部長
伊藤 肇 氏

Tableau Japan株式会社
社長
佐藤 豊 氏

18:00▶19:15 交流会(お気軽にご参加ください)・JUAS FUTURE PRESENTATION表彰式

●特別講演、ランチョンセッションならびにコンサルティングセッションは協賛各社の提供プログラムです。　●セッションはすべて**要予約**です。　●プログラム内容は予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。最新の情報はWebをご覧ください。

http://juas-event.jp/square/sq2018